



WebFOCUS リリースノート（アシスト追補版）

Version 9.2.0

本リリースノート（アシスト追補版）では、『WebFOCUS リリースノート Version9.2.0』を補完する情報と注意点を記載しています。WebFOCUS Version 9.2.0 をインストールの前に必ずご一読ください。

トピック

- WebFOCUS リリースノートについて
- メンテナンスリリース 9.2.0 で修正された問題
- メンテナンスリリース 9.2.0 で新規に発生する問題
- Tomcat AJP コネクタ使用時の追加設定について
(WFTEST-5581)

WebFOCUS リリースノートについて

『WebFOCUS リリースノート Version9.2.0』には、利用される環境によって必要な設定および注意点が記載されています。WebFOCUS をご利用の前に必ずご一読ください。

リリースノートは、WebFOCUS Knowledge base サイトからダウンロードしていただくことができます。WebFOCUS Knowledge base へのアカウント登録が必要です。アカウントをお持ちでない場合は、下記 URL 上に表示される「WebFOCUS Knowledge base とは？」のリンクからアカウントの申し込みを行ってください。

<https://wfp.ashisuto.co.jp/service/>

WebFOCUS Version 9.2.0 で修正された問題

WebFOCUS Version 9.2.0 では、以下の問題が修正されました。

管理番号	コンポーネント	内容
WFTEST-2827	Web コンソール	サンプルデータの数値項目をソートしても正しく動作しない。
WFTEST-3046	InfoAssist	グラフキャンバス（InfoAssist グラフツール）で、見出しまたは脚注の[グラフのテキストオプション]を、[見出しと脚注をテキストとして作成]に変更しても、再度 GUI ツールで開きなおすと、[見出しと脚注をグラフに埋め込み]に戻ります。
WFTEST-3462	Reporting Server	Web コンソールコアエンジンの設定で、サービスエリアに複数カテゴリチェックし設定を行った場合に、一つ目のカテゴリで設定した値しか edasprof.prf に保存されません
WFTEST-3531	InfoAssist	OLAP レポートの OLAP コントロールパネルでディメンションの値一覧を表示することができません。（値一覧を取得して条件を設定することができません。）
WFTEST-4404	App Studio	AppStudio で、テキストボックスのプロパティパネルに「値の変更」イベントが2つ表示されます。
WFTEST-4457	App Studio	App Studio を起動する時、環境ツリー上で「ワークスペース」ではなく、「Content」と表示されています。
WFTEST-4598	In-Document Analytics	AHTML 出力で ACROSS と NOPRINT を含む特定の条件において、レポートを出力すると意図した位置に背景色が設定されない場合があります。（NOPRINT が存在する分、ずれたような位置に色

		がつく。)
WFTEST-4599	In-Document Analytics	Analytic Document レポートで、条件付きスタイルとして ACROSS 項目に背景色を指定しても、レポートを出力時、背景色が設定されません。
WFTEST-4600	In-Document Analytics	Analytic Document レポートで、列固定を選択すると、行のハイライトが列固定を設定した列以降にしか反映されません。
WFTEST-4696	Reporting Server	Web コンソールのデータアダプタ構成画面で、大文字で作成されたユーザプロファイルが読み込めません
WFTEST-4849	App Studio	シングルコーテーションが 2 つ入っている値が選択されている状態で[選択の保存]をした場合、正常に保存されず、未選択状態になります。
WFTEST-4869	App Studio	Content 以下の任意フォルダからグラフを作成し、ドキュメントキャンバス上で「既存グラフのインポート」を行う場合、「ファイルを開く」ダイアログで作成したグラフが表示されていません。
WFTEST-4928	Reporting Server	CLM（ラウンドロビン）を構成しても正しく負荷分散できません。
WFTEST-5012	InfoAssist	日本語名のフィールドが変数に指定されているオートプロンプトで、「現在の値を保存」が正しく動作しません。
WFTEST-5019	App Studio	先頭行に空白が挿入されているプロシジャに対し、インパクト分析を行った場合、正しい結果が表示されません。
WFTEST-5037	ReportCaster	SJIS 環境で ReportCaster のスケジュール禁止日のインポートを行うと文字化けします。
WFTEST-5049	ホームページ	ホームページ（WebFOCUS HUB）で F5 キーを押すと、"Failed to process the request "のエラーが rs.log に出力されます。
WFTEST-5058	Designer	DESIGNER で「実行時に選択」の設定を有効にすると、解除することができません。
WFTEST-5059	InfoAssist	以前のバージョンで作成された HOLD ファイルのセグメント名が 8 バイトで切り捨てられたプロシジャを V9.0.0 の InfoAssist で開くと、「フィールドが見つかりません」のエラーが発生します
WFTEST-5076	Reporting Server	8.2.01 の場合は日本語で 1067 以上、9.0.0 の場合は 2046 文字以上の文字数を見出しに設定し、Excel

		(XLSX) で出力するとクラッシュが発生します。
WFTEST-5138	App Studio	App Studio のレポートキャンバスの [スタイルテンプレート] と [レガシースタイルテンプレート] が表示されません。
WFTEST-5154	Reporting Server	FPRINT 関数の指定で、除算計算を含むパラメータを指定した場合、正しく計算できません。
WFTEST-5156	BI Portal	ポータルメニュー部分にカーソルを合わせたときに表示されるツールチップのメッセージが、2 回目以降の表示で正しく表示されない場合があります。「選択したページは〇〇です」のメッセージが増えて表示されます。
WFTEST-5157	BI Portal	セキュリティセンターでグループの階層を変更しても反映されない
WFTEST-5194	InfoAssist	8206.28 へバージョンアップ後、特定のファイルに対し以前のバージョンで作成済みのプロシジャを InfoAssist で再編集し、DEFINE を追加作成すると FOC258 エラーが発生します。
WFTEST-5203	Designer	散布図/バブルグラフで色の指定がある場合にマーカー変更が正しく動作しません
WFTEST-5205	Reporting Server	SQL Server テーブルのクラスタシノニムに対し、特定の条件の DEFINE 項目内で DT_FORMAT 関数を使用すると、エラー(SQL コード : 8116)が発生する場合があります。
WFTEST-5210	BI Portal	コラボレーションポータル実行時、Client の言語設定を中国語、韓国語に設定した場合、読み込み中のままとってしまいます。
WFTEST-5211	Reporting Server	ActiveReport で ACROSS 展開時に「ACROSSCOLUMN=項目」で指定したスタイルの設定が反映されません。
WFTEST-5218	Designer	V9.0.2 でレガシー機能を有効にするのチェックを外すと、Designer (GUI) で作成したレポートが編集できなくなります。(テキストエディタでの編集のみになります)
WFTEST-5219	Reporting Server	マルチドリルダウンで"#","+"がエンコードされません。
WFTEST-5223	Reporting Server	8.2.06 環境で作成し、9.0.3 環境にインポートしたポータルが実行できません。
WFTEST-5225	Designer	ブラウザに Firefox を使用している場合、

		DESIGNER で見出しに改行をいれると実行時に改行が有効になりません。
WFTEST-5227	Reporting Server	マルチドリルダウン時に受け渡すパラメータに、"%"が含まれている場合エンコードされません。
WFTEST-5240	Reporting Server	コアエンジンの設定を複数指定すると値が保存されないパターンがあります。
WFTEST-5273	App Studio	App Studio の HTML キャンバスに配置されたフレーム(外部プロシジャ(出力形式が AHTML のレポート)と紐づけ済み)の外枠が消えます。
WFTEST-5282	App Studio	2 つの HTML で同じ名前のパラメータを使用している場合、一方の HTML 画面でコントロールに設定した値が別の HTML 画面の初期値として表示されます。また、検索した HTML を再読み込みしても、前回検索で設定した値が表示されます。
WFTEST-5283	App Studio	App Studio からレポート作成時にオートドリルダウンを使用して、レポートを実行する時、「unKnown Error」というエラーメッセージが出力されます。
WFTEST-5286	App Studio	【App Studio】[リクエストとデータソース]パネルにフォーカスを当てた状態で[Enter]キーを押下するとパネルが操作不能になります
WFTEST-5288	Reporting Server	RESTful API の putProperty の設定で、レポート出力キャッシュルール (cacheRules) を (E_report 等に) 設定後、無効 (__null) に戻すことができません
WFTEST-5289	Designer	Designer のデータタブにて作成した HOLD ファイルをもとにビジュアライゼーションでレポートを作成後、保存し、再度 Designer で編集すると参照するシノニムが変わってしまい、正しいデータが出力できない場合があります。
WFTEST-5292	Designer	日本語の名前で作成したコンテンツをページに配置して実行した場合、ブックマークでフィルタの条件を保存できません。
WFTEST-5293	Reporting Server	OLAP レポートのパネルで、レポートを保存する際に、Excel 形式で保存ができません。
WFTEST-5302	Designer	Designer データタブにて動的フィルタを設定したプロシジャを再編集すると、設定した動的フィルタの記述がダブルコーテーションで囲まれるようにソースが書き換わってしまい、実行するとエラーが発生

		します
WFTEST-5315	Reporting Server	-HTMLFORM で WF_SIGNON を使用してログインし、WF_SIGNON_MESSAGE に URL を指定して実行すると WebFOCUS Hub が表示されます。
WFTEST-5321	Designer	デザイナのデータタブで、複雑な式の一時項目を作成しフィルタに追加すると、フィルタに設定された一時項目名が「SQLDEF01」に書き換わる場合があります。
WFTEST-5325	App Studio	「保存済みパラメータセット」機能で条件値をロードした際に、ドロップダウンリストのリスト取得処理が2回発生する場合があります。（ロード後にデフォルト値で上書きされます）
WFTEST-5344	App Studio	複数値選択可能なドロップダウンリストに検索コントロールを追加した場合、検索コントロール内の「選択値を保持」にチェックをいれても選択値が保持されません。
WFTEST-5352	Designer	デザイナの「データ」タブ-「カラムの選択」画面で一時項目をフィルタに設定、保存し、再度フィルタを表示した場合、フィルタ内の該当の一時項目が違う名前（SQLDEFnn）に自動的に置き換わることがあります。
WFTEST-5371	Designer	Analytic Document で日付型フィールドにフィルタ条件がかかりません
WFTEST-5376	App Studio	AppStudio で、[名前を付けて保存]ダイアログ中の[ファイル名]欄にフォーカスが当たっている状態で、キーボードの [↓]キー を押下するとパラメータが間違っていますとエラーが発生します。また、[名前を付けて保存]ダイアログ中の[ファイル名]欄の入力の最後尾にカーソルを当てた状態で、キーボードの [BackSpace]キー を 4 回 押下すると勝手にカーソルが先頭に移動します。
WFTEST-5377	App Studio	HTML キャンバスで、ページ検索コントロールの検索を使用する際、値表示値に数値が含まれている場合は正しく検索することが出来ません。
WFTEST-5382	InfoAssist	InfoAssist で、ダブルバイト文字の DEFINE 項目名 ("あいう (か) ") を含む HOLD ファイルを作成し、その HOLD ファイルからレポート作成時に、HOLD ファイルに含まれる DEFINE 項目名と前方部

		分一致するダブルバイト文字で DEFINE 項目名 ("あいう") を追加しようとする、アプリケーションサーバ (Tomcat) がハングアップします。
WFTEST-5386	Designer	Designer で HOLD ファイル内の項目を動的フィルタに設定すると、フィルタのデータの参照先が一次フォルダ[Preview)になってしまい、再ログイン等でプレビューのデータが削除された状態で実行するとフィルタのデータが表示されません。
WFTEST-5407	その他	物理フォルダの資産を ibi_apps/approot でアクセスした後に再度ブラウザを開くと ibi_apps エイリアスが無効のエラーが発生します。
WFTEST-5417	App Studio	App Studio のレポートキャンバスにて、[オブジェクトインスペクタ]パネル上で[Enter]キーを押下すると、項目追加や右クリックメニュー表示などの操作ができなくなります。
WFTEST-5419	Designer	アプリケーションフォルダ名に大文字を使用すると、Designer で該当フォルダ内のシノニム選択時にエラーが発生し、Designer が使用できません
WFTEST-5422	Resource Analyzer	保守ジョブを複数作成した際に、最初に作成したジョブ以外[スケジュールと管理]から編集画面を開けません
WFTEST-5427	Designer	ビジュアライゼーションのデータタブにて、フィルタの比較子として「NE」を指定した場合、正しい実行結果が得られません。
WFTEST-5430	App Studio	デフォルトオートプロンプトテンプレート「デザイナ」の設定で、レポートキャンバス WHERE 条件作成時、[変数エディタ] - [静的リスト]に表示値：選択なしが設定できません
WFTEST-5432	Resource Analyzer	Resource Analyzer でログが取得できないリポジトリのテーブル (SMRELATIONS) があります。
WFTEST-5438	App Studio	9.1.0、9.1.1 ではカレンダーコントロールに存在しない日付を入力した場合、変換されず入力値のまま格納されます。
WFTEST-5447	Designer	Designer でオートリンク先プロシジャ中のフィルタの変数名が一致しないため、オートリンクができません。
WFTEST-5455	InfoAssist	セグメントの制限が 8 バイトの時に作成され、セグメント名が同一の複数の HOLD ファイルを含む

		InfoAssist（レイアウト）のレポートを V9.0.4 にインポートして開くと FOC236 エラーとなり編集することができません
WFTEST-5458	App Studio	App Studio の HTML キャンバスで末尾に _（アンダースコア）の付く変数名を追加すると「パラメータが間違っています」エラーが発生します。
WFTEST-5471	ホームページ	リポジトリ DB が Db2 11.5 の場合、子グループ（2 階層目以降のグループ）に対して、ワークスペース配下のフォルダに「ListAndRun」などのセキュリティルールを設定し、対象の子グループに所属しているユーザーでログインしてもフォルダが表示されません。
WFTEST-5500	Designer	パラメータのプロンプトの設定で、デフォルトオートプロンプトテンプレートが[デザイナ]の場合、Designer でオートドリルダウンレポートプレビュー実行時にオートプロンプトで 2 回目以降の実行を行う際に「項目が存在しません」エラーが発生します。
WFTEST-5548	App Studio	App Studio の HTML キャンバスで「非表示」を行う際のアニメーション設定が反映されません

メンテナンスリリース 9.2.0 で新規に発生する問題

メンテナンスリリース 9.2.0 では、以下の問題が新規に発生することが報告されています。

キー	コンポーネント	要約
WFTEST-791	App Studio	見出しを設定しているグラフをオートアジャストした場合、スクロールバーが表示されてしまいます。
WFTEST-5433	App Studio	WebFOCUS Client を以前のバージョンから V911 に更新インストール後、AppStudio からの接続時に「接続中の環境に HTML キャンバスの正しい動作に必要なファイルがありません。」のエラーが発生する場合があります。
WFTEST-5540	ホームページ	WebFOCUS Hub にて、ユーザーメニューより、「言語の変更」で設定言語のドロップダウンリストの値が空欄で表示されてしまいます。
WFTEST-5545	管理コンソール	レガシーホームページから管理コンソールを選択すると、管理コンソールの画面が崩れて利用できません

		ん。
WFTEST-5558	Reporting Server	管理コンソールにて、セキュリティの構成の詳細にある「匿名ユーザーID(public)」を削除し値を空欄にして WebFOCUSHub にログインしようとするとき 404 エラーとなり接続できません。
WFTEST-5559	App Studio	App Studio のグラフツールで新規グラフを作成する際、空白 HTML ページが同時に表示されます。
WFTEST-5569	ホームページ	WebFOCUS Hub にて、ワークスペース内に配置した画像ファイルをダブルクリックして開くと、空のテキストエディタが開きます。
WFTEST-5570	管理コンソール	管理コンソールから内部認証の設定で値を設定した後、ログインの最大試行回数以上にパスワードを間違えた際、例外処理のエラーが発生します。
WFTEST-5574	Web コンソール	Web コンソールにて「データの取得」より[詳細モード]から[リモートサーバ]を選択すると、リモートサーバの構成ダイアログで「キャンセル」ボタンが表示されていません。
WFTEST-5577	Web コンソール	Web コンソールにて、WebFOCUS CLient アダプタを追加し、外部リポジトリとして WeFOCUS CLient リポジトリをマッピングしようとするとき、「マッピングディレクトリ WFC:/localhost は無効です」の警告メッセージが表示され、マッピングできません
WFTEST-5578	Reporting Server	9.2.0 より EDASERVE 配下 EDAHOME にある特定のスタイルシート(jadeflt.sty など)を指定して実行するとエラーとなります。
WFTEST-5581	ホームページ	Tomcat AJP コネクタを使用し、Web サーバー（IIS もしくは Apache HTTP サーバー）と連携して構成する場合、WebFOCUS にログインできません
WFTEST-5586	その他	9.2.0 よりレガシーホームページでワークスペースを「完全表示」にする時、「FILE」と「WEB」のみが表示されます。
WFTEST-5605	Designer	DESIGNER（ビジュアライゼーション）起動時に日本語名のシノニムを選択するとエラーになります。
WFTEST-5606	App Studio	App Studio より、アプリケーションフォルダ内にあるシノニムファイルより、[レポートを作成][InfoAssist グラフの作成]を選択すると、「(FOC295)置換変数の値がありません。」とエラー

		ーが表示されます。
WFTEST-5611	Designer	ビジュアルイゼーションにて日本語のフィールド名を含むファイルを指定し、「データ」タブより HOLD を作成した後、[データ]タブから[ビジュアルイゼーション]タブに切り替えるとエラーが発生し、その後の操作を受け付けなくなります。
WFTEST-5613	ホームページ	管理コンソールより、Designer のプロパティの設定を変更できない場合があります。
WFTEST-5633	App Studio	9.2 から App Studio の内部ビューアは廃止されました。
WFTEST-5642	Web コンソール	WebFOCUS Client アダプタのシノニムとサンプルの作成で、以前のバージョンでは作成されていたシノニムが V9.2.0 では作成されません
WFTEST-5644	Reporting Server	Excel、PDF ファイルをダウンロードする際にファイル名に日本語が含まれている場合、プロシジャ内で指定したファイル名ではなく実行したプロシジャ名でダウンロードされてしまいます。

WebFOCUS をご使用にあたっての非互換、不具合の詳細な情報は、AWSC-2（Ashisuto Web Support Center-2※）の WebFOCUS 不具合・非互換一覧 バージョン 9（FAQ 番号：60195）をご確認ください。
<https://ashisuto.my.site.com/awsc2>

※AWSC-2 のログインにはサポート ID が必要となります。

Tomcat AJP コネクタ使用時の追加設定について（WFTEST-5581）

WebFOCUS Version 9.2.0 をインストール時、アプリケーションサーバーとしてインストールモジュールにバンドルされた Tomcat（V9.0.73）を Web サーバー（IIS もしくは Apache HTTP サーバー）と連携（AJP コネクタ経由）して構成する場合、WebFOCUS にログインできない問題が発生します（WFTEST-5581）。これは Tomcat V9.0.73 を含む特定のバージョンでのみ発生する問題であり、この問題に対応するためには、Tomcat を問題の発生しないバージョンに入れ替える必要があります。

参考：Tomcat V9.0.73 の当該問題の詳細は以下をご参照ください。

https://bz.apache.org/bugzilla/show_bug.cgi?id=66512

以下は Windows 版、Linux 版のそれぞれの環境で WebFOCUS の新規インストールで自動構成される Tomcat V9.0.73 を同 V9.0.70 に入れ替える手順です。WebFOCUS の構成内容に応じて、以下を参考に必要な対応を行ってください。

Windows 版対応方法

- 1 Tomcat V9.0.70 モジュールのダウンロード

Apache Tomcat サイト (<https://tomcat.apache.org>) の以下のアーカイブサイトで Tomcat V9.0.70 のインストールモジュール (apache-tomcat-9.0.70.exe) をあらかじめダウンロードします。

<https://archive.apache.org/dist/tomcat/tomcat-9/v9.0.70/bin/>

2 WebFOCUS V9.2.0 の新規インストール

インストールガイドまたはインストール手順書にしたがって、WebFOCUS V9.2.0 を新規インストールします。

3 Tomcat V9.0.73 のバックアップ

WebFOCUS Client V9.2.0 の新規インストールで自動構成される Tomcat V9.0.73 のバックアップを取得します。

3.1 Tomcat V9.0.73 のサービス (Apache Tomcat 9.0.73 for WebFOCUS) を停止します。

3.2 [Tomcat 構成ユーティリティ] (Windows スタートメニューから[ibi]-[Tomcat]) を起動し、[Java]タブのすべての設定をテキストエディタなどにコピーし、保管します。 ※後続の手順で設定を変更しますので、必ずすべての内容を保管してください。

3.3 <drive>:\ibi\tomcat フォルダをコピーし、バックアップを取得します。

4 Tomcat V9.0.73 のアンインストール

Windows スタートメニューから[ibi]-[Tomcat]-[Tomcat のアンインストール]を実行し、Tomcat V9.0.73 をアンインストールします。

5 Tomcat V9.0.70 のインストール

先にダウンロードした Tomcat V9.0.70 インストールモジュール (apache-tomcat-9.0.70.exe) をインストールします。インストーラの指示により、以下を指定してください。

- Java Virtual Machine : <drive>:\ibi\WebFOCUS92\jdk
- Choose Install Location : <drive>:\ibi\tomcat

インストール完了後、Tomcat サービス (Apache Tomcat 9.0 Tomcat9) を起動し、以下の URL にアクセスできれば、Tomcat V9.0.70 のインストールは完了です。

<http://サーバ名:8080>

6 Tomcat V9.0.70 インストール後の構成

6.1 Tomcat V9.0.70 のサービス (Apache Tomcat 9.0 Tomcat9) を停止します。

6.2 3.3 で取得した Tomcat V9.0.73 のバックアップから以下のフォルダ配下のファイルを Tomcat V9.0.70 の同じパス上にコピーします。

<tomcat V9.0.73 のバックアップフォルダ>\conf\Catalina\localhost

6.3 AJP Connection ポート (8009) のコメントアウト指定を削除し、有効化します。

<drive>:\ibi\tomcat\conf\server.xml をテキストエディタで編集します。

<Connector protocol="AJP/1.3" />の前後の <!-- と --> がコメントアウトの指定です。

指定例：

```
<Connector protocol="AJP/1.3"
    address="localhost"
    port="8009"
    redirectPort="8443"
    secretRequired="false"
    allowedRequestAttributesPattern=".*"
    maxPostSize="-1" />
```

6.4 Windows スタートメニューから[Apache Tomcat 9.0 Tomcat9]-[Configure Tomcat]を実行し、以下の設定を行います。

- [Log On]タブで、[Local System account]を選択します。
- [Java]タブで、[Java Virtual Machine]、[Java Classpath]、[Java Options]、[Initial memory pool]、[Maximum memory pool]の設定をあらかじめ保管してある V9.0.73 と同じ値に設定します。

6.5 Tomcat サービス（Apache Tomcat 9.0 Tomcat9）を起動します。また、WebFOCUS Client リポジトリ DB と WebFOCUS Reporting Server のサービスを再起動します。

7 WebFOCUS Hub にログインし、[管理コンソール]-[機能診断]-[WebFOCUS について] より、Application Server のバージョンが [Apache Tomcat/9.0.70]となっていることを確認します。



Linux 版対応方法

1 Tomcat V9.0.70 モジュールのダウンロード

Apache Tomcat サイト (<https://tomcat.apache.org>) の以下のアーカイブサイトで Tomcat V9.0.70 のモジュール (apache-tomcat-9.0.70.tar.gz) をあらかじめダウンロードします。

<https://archive.apache.org/dist/tomcat/tomcat-9/v9.0.70/bin/>

2 WebFOCUS V9.2.0 の新規インストール

インストールガイドまたはインストール手順書にしたがって、WebFOCUS V9.2.0 を新規インストールします。

3 Tomcat V9.0.73 のバックアップ

WebFOCUS Client V9.2.0 の新規インストールで自動構成される Tomcat V9.0.73 のバックアップを取得します。

3.1 Tomcat V9.0.73 のサーバープロセス (Application Server) を停止します。

3.2 <directory>/ibi/tomcat のバックアップを取得します

4 Tomcat V9.0.73 のアンインストール

<directory>/ibi/tomcat 配下のディレクトリ、ファイルを削除します。

5 Tomcat V9.0.70 の配置

先にダウンロードした Tomcat V9.0.70 モジュール (apache-tomcat-9.0.70.tar.gz) を <directory>/ibi/tomcat 配下に配置します。

6 3.2 で取得した Tomcat V9.0.73 のバックアップから以下のフォルダ配下のファイルを Tomcat V9.0.70 の同じパス上にコピーします。

<tomcat V9.0.73 のバックアップディレクトリ>/conf/

- Catalina

7 AJP Connection ポート (8009) のコメントアウト指定を削除し、有効化します。

<directory>/ibi/tomcat/conf/server.xml をテキストエディタで編集します。

<Connector protocol="AJP/1.3" />の前後の <!-- と --> がコメントアウトの指定です。

指定例：

```
<Connector protocol="AJP/1.3"
    address="localhost"
    port="8009"
    redirectPort="8443"
    secretRequired="false"
    allowedRequestAttributesPattern=".*"
    maxPostSize="-1" />
```

8 3.2 で取得した Tomcat V9.0.73 のバックアップから以下のフォルダ配下のファイルを Tomcat V9.0.70 の同じパス上に上書きコピーします。

<tomcat V9.0.73 のバックアップディレクトリ>/bin/

- shutdown.sh
- startup.sh
- catalina.sh

9 3.2 で取得した Tomcat V9.0.73 のバックアップから以下のフォルダ配下のファイルを Tomcat V9.0.70 の同じパス上に上書きコピーします。

<tomcat V9.0.73 のバックアップディレクトリ>/webapps/

- lbi_html

10 <directory>/lbi/tomcat/webapps フォルダ配下の以下フォルダを削除します。

- docs
- examples
- host-manager
- manager

11 Tomcat V9.0.70 のサーバープロセス（Application Server）を起動します。

12 WebFOCUS Hub にログインし、[管理コンソール]-[機能診断]-[WebFOCUS について] より、Application Server のバージョンが [Apache Tomcat/9.0.70]となっていることを確認します。



以上